

令和3年(2021年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
通年	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、取り組んでいます 【佐久保健福祉事務所(佐久保健所)、佐久地域振興局】</p> <p>○きめ細かな相談対応 かかりつけ医を持たない方や、受診先に迷われている方からの相談にきめ細かく対応できるよう保健師を増員し、相談受付体制を充実しました。</p> <p>○迅速な対応 保健師や臨床検査技師を増員することで、疫学調査を迅速に行い、濃厚接触者を早期に特定し、PCR検査の実施へと繋げる体制を強化しました。</p> <p>○医療機関との連携による対応 医療機関の協力により設置した、管内2か所のドライブスルー方式の「地域・外来検査センター」による検査を継続しています。また、発熱等の症状で感染を心配されている方が早期に受診できるよう、受診・検査が可能な医療機関を県ホームページで公表しました。</p> <p>1月から、医療機関等と定期的にWEB会議を行い、管内の新型コロナウイルス感染状況や感染患者の受入体制等の情報交換を通じて、必要となる地域医療体制の確保に努めました。</p> <p>○新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み 1月にピークを迎えた新型コロナウイルスの第3波は佐久地域にも拡大しました。県では、新型コロナウイルス特別警報Ⅱを、1月6日に小諸市に、1月11日に佐久市、軽井沢町、御代田町に発出しました。これを受け、小諸市の一部の地域において、酒類の提供を行う飲食店等に対して施設の使用停止(休業)や営業時間の短縮について協力を要請しました。</p> <p>さらに8月には「デルタ株」による急激な感染拡大により、新型コロナウイルス特別警報Ⅱを8月5日に小諸市、佐久市、軽井沢町、御代田町、立科町に発出、6日には同市町内にある酒類の提供を行う飲食店等に対し休業及び営業時間の短縮等の要請を行いました。8月20日には、新型コロナウイルス特別警報Ⅱを全県に発出するなど、8月の第5波は過去最大の感染拡大となりました。</p> <p>休業や営業時間の短縮等にご協力いただきました皆様、まことにありがとうございました。</p> <p>○県ワクチン接種会場を開設 県内におけるワクチン接種を加速させるため、県内6か所に接種会場を開設。佐久合同庁舎では、6月26日から特別支援学校職員や警察等を対象としたワクチン接種を皮切りに、順次実施しました。</p> <p>県民の皆様、関係機関のご協力のおかげで、12月16日現在、県内における2回目接種率は89.7%を達成しています。</p>



令和3年(2021年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
<p>通年</p>	<p>令和元年東日本台風の災害復旧工事を全力で取り組んでいます 【佐久地域振興局農地整備課・林務課、佐久建設事務所】</p> <p>一昨年10月に発生した令和元年東日本台風は、佐久地域に甚大な被害をもたらしました。今年も復旧・復興に向けて県組織が一丸となって取り組んでいます。</p> <p>農地・農業用施設は、合計1200地区で被害を受けましたが、11月末現在、すべての地区で復旧工事に着手しています。</p> <p>山地・林道施設では合計で124箇所が被災しましたが、東日本台風災害に係る災害関連緊急治山事業の対象となった7箇所のすべてが6月までに竣工しました。 なお、当事業の対象とならなかった山地災害についても通常の治山事業により引き続き復旧に努めてまいります。</p> <p>公共土木施設(県管理)では457箇所が被災しましたが、11月末現在、379箇所の復旧工事を完了(進捗率83%)しています。</p> <p>○長野県建設業協会佐久支部・南佐久支部との細目協定を締結 令和元年東日本台風で浮き彫りとなった課題に対応するため、長野県建設業協会南佐久支部および佐久支部と「災害時における応急対策業務に関する細目協定」を12月3日に締結しました。今回の締結により、応急対策業務の円滑化、被災者支援の迅速化が図られ、全県が一体となった応援が可能となります。</p>  
<p>通年</p>	<p>「佐久っとサイクルプロジェクト」が始動! 【佐久地域振興局商工観光課】</p> <p>長野県一周ルートを推進する「Japan Alps Cycling プロジェクト」に連動して、佐久地域にサイクルツーリズムを定着させるため、「佐久っとサイクルプロジェクト」を始動させました。</p> <p>地域のほとんどの場所で浅間連峰やハヶ岳を眺望でき、サイクリングにとって絶好のロケーションを活かしたサイクルツーリズムを重層的な取り組みによって推進していきます。</p> <p>おすすめのサイクルコースを自転車ナビアプリ「Ride with GPS」に順次掲載するとともに、休憩スポットに置くサイクルラックについては、佐久地域産カラマツにこだわったオリジナルラックを製作しました。</p> <p>また、「Japan Alps Cycling プロジェクト」長野県一周ルートの佐久地域分については、11月の試走会を経て、今年度中にルートを確定させる予定です。</p>  
<p>通年</p>	<p>佐久地域の農産物PR afterコロナに向け農産物の活用を促進しています 【佐久地域振興局佐久農業農村支援センター】</p> <p>佐久地域の農産物等を地元消費者に対し需要を喚起するとともに、afterコロナを見据え、宿泊・飲食業者に対して地元食材の魅力等を発信し、地産地消を推進するため次の事業を実施しました。</p> <p>○フラワーアレンジメントの展示 佐久地域では7月からカーネーション、トルコギキョウ、キク等の花の生産がピークを迎えます。 新型コロナウイルス感染症の影響で冠婚葬祭の縮小やイベントの中止等により花の消費が減少している一方で、コロナ禍で広く浸透されたテレワーク。この花とテレワークをマッチングし、7月下旬から10月上旬まで、花のある空間の提供と花のPR・消費拡大を目的に、ワークテラス佐久において、週替わりで佐久地域の花を使ったフラワーアレンジメントの展示を行いました。</p> <p>○地元農産物のYouTube発信 「佐久鯉」「信州蓼科牛」「ブルーベリー」など佐久地域が誇る農産物の魅力を宿泊・飲食業者の方々に知ってもらうため、生産現場の様子、生産者の思い、調理例を撮影し、YouTubeによる情報発信を行っています。</p>   <p>YouTube リンク先</p>  <p>ブルーベリー</p>  <p>佐久鯉</p>  <p>蓼科牛</p>

令和3年(2021年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
通年	<p>高原野菜産地を支える外国人労働力等の確保や就農希望者を支援 【佐久地域振興局佐久農業農村支援センター、農業大学校研修部】</p> <p>○産地の安全・安心を確保するための説明会を開催 新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数が急激に増加した3月以降、外国人技能実習生の入国が制限されました。 国内に在留する技能実習生や特定活動の在留資格者の南佐久への受け入れに当たり、監理団体に対しPCR検査や抗原検査などの受入前検査の実施を呼びかける「高原野菜産地受入人材に関する説明会」を4月15日にWEB開催し、18の監理団体が参加しました。 多くの技能実習生を受け入れている川上村では、県が作成した感染予防対策ポスターやチラシを全戸配布するなど、感染拡大防止対策の徹底に努めました。</p> <p>○ハローワークと連携した農家×求職者のマッチングを開催 外国人技能実習生に代わる人材の確保、新型コロナウイルスの影響等による失業者対策のため、ハローワーク佐久との連携により、正社員や期間雇用者を求める農業経営者と求職者とのマッチングを目的とした「個別相談会」を4月30日に開催し、農業法人等6事業所に対して求職者8名の参加がありました。</p> <p>○WEB就農相談会を開催 新型コロナウイルスの流行に伴い、対面による就農相談の実施が困難になってきたことから、農業大学校研修部では、7月から毎月オンラインによる就農相談会を開催しました。 初めての試みとなりましたが、県内への就農を促進する良い機会となりました。 気軽に県内への就農が相談できることから、次年度以降も実施していく方向で検討していきます。</p>
3月	<p>「中佐都バイパス」が全線開通 【佐久建設事務所】</p> <p>3月13日に一般県道塩名田佐久線 中佐都バイパスが全線開通しました。これにより、生活道路の安全な道路環境が確保されるとともに、浅科・望月方面から中佐都ICへのアクセス向上による地域経済の発展や、浅間病院、佐久医療センターへの救急搬送時間の短縮による救命率の向上などが期待されます。</p>
4月	<p>佐久大学に人間福祉学部人間福祉学科が開設</p> <p>4月、佐久大学にヒューマンケアの専門職を養成する人間福祉学部が開設されました。「地域ケア」の先進地である佐久地域での医療福祉がさらに充実するよう、県としても支援してまいります。</p>
4月	<p>果樹を中心に大きな凍霜害が発生しました 【佐久地域振興局佐久農業農村支援センター】</p> <p>断続的な低温・降霜により、県内各地で農作物の凍霜害が発生しました。佐久地域でも小諸市、佐久市、佐久穂町、立科町の果樹(りんご、もも、プルーン)を中心に大きな被害となり、被害面積270ha、被害金額約2億4千万円となりました。 佐久農業農村支援センターでは被害状況調査と併せ、特に被害が大きかった地域の農家には、今後の対策として防霜ファンの設置や燃焼資材の使用を呼びかけました。</p>



令和3年(2021年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
5月	<p>大規模噴火時の避難想定人口を公表 【佐久地域振興局総務管理課】</p> <p>長野県・群馬県及び周辺市町村等で構成する浅間山火山防災協議会は、5月に大規模噴火時の影響範囲や避難想定人口を公表しました。</p> <p>浅間山は3月23日、気象庁により浅間山に火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)が発表され、火山性地震の活発化などが見られました。その後、8月6日にレベル1に引き下げられましたが、今後も、佐久地域における災害発生時に備えた連絡・連携体制を強化していきます。</p>
6月	<p>佐久穂町の八千穂高原で「第30回佐久地域森林祭」を開催 【佐久地域振興局林務課】</p> <p>第30回を迎えた佐久地域森林祭が、6月1日に八千穂高原にて開催されました。森林祭は、森林・林業への理解を深めることや、地域緑化及び森林資源の整備を図るための祭典で、シラカバなど1500本余りの苗木を植栽しました。</p> <p>今回は新型コロナウイルスの発生状況を踏まえ、実行委員会のみで行いましたが、来年は多くの皆様にご参加いただき、開催できることを願っております。</p> 
6月	<p>スマート農業を活用した「ラジコン式草刈機の実演会」を開催 【佐久地域振興局佐久農業農村支援センター】</p> <p>農業の担い手不足・高齢化が進む中、人手不足の解消と生産性の向上を図るため、近年、技術発展の著しいロボット・AI・ICT等先端技術を活用した「スマート農業」の導入が進められています。</p> <p>佐久農業農村支援センターでは令和3年度から「スマート農業相談窓口」を設置し、先端技術に係る相談のほか市町村、JA、メーカーと連携して生産者に先端技術の紹介や水田センサー、アシストスーツ、分娩管理システム等の最新機器のお試し導入を行い、生産現場への先端技術の実装を支援しています。</p> <p>この取組みの一つとして、6月9日・10日の2日間、JA 佐久浅間と共催し管内5地区でラジコン式草刈機の実演会を開催しました。</p> <p>延べ100名を超える農業者が参加し、先進機械を「知って」・「試して」・「導入」してもらう良い機会となりました。</p> 
9月	<p>「五郎兵衛用水見学会」を開催 【佐久地域振興局農地整備課】</p> <p>17世紀前半に整備され、現在も佐久市浅科地区の約420haを潤している「五郎兵衛用水」の見学会を9月28日に開催しました。</p> <p>地元の浅科小学校の4年生を対象に、用水の水源や、400年前に手で掘られた水路トンネルの見学を通じて、地域の人が守り続けてきた用水について学習していただきました。</p> 
9月	<p>佐久地域星空トレイン「晴星(はれぼし)」が運行開始! 【佐久地域振興局商工観光課】</p> <p>佐久地域は、高い晴天率と澄んだ空気により美しい星空が見られることから、宇宙観測に適しており、大きなパラボラアンテナが3箇所を設置されている地域です。</p> <p>この美しい星空をPRし、県内外から多くの方にお越しいただけるよう、しなの鉄道にご協力いただき、佐久地域の星空、浅間山、八ヶ岳とパラボラアンテナをデザインした列車を運行することになりました。</p> <p>運行開始を記念して9月26日に小諸駅で出発式を開催しました。皆様に愛される列車となるよう愛称を公募し、600件を超える応募から「晴星」に決定しました。また、小諸市立芦原中学校吹奏楽部の演奏で盛り上げていただき、当日の臨時列車には往復で延べ100名にご乗車いただきました。</p> <p>佐久地域星空トレイン「晴星」は、令和6年3月まで定期列車として軽井沢駅～妙高高原駅間で運行します。ぜひご乗車ください。</p>  

令和3年(2021年)佐久地域県政おもなできごと

月	内 容
9月	<p>ゼロカーボン推進に取り組んでいます！ 【佐久地域振興局環境・廃棄物対策課】</p> <p>○子ども環境情報誌「エコチル」を全小学生へ配布 「子どもたちに、もっと環境に関心をもってもらえる機会をつくろう」「地域社会と学校、家庭をエコでつなぐプラットフォームになろう」という理念のもと、北海道、東京、横浜の小学校で毎月配布されている「エコチル」の長野県版が完成。9月号より元気づくり支援金を活用して、佐久地域の全小学生に配布しました。 また、子どもたちへ長野県の環境に関する情報を届けるため、取材や情報提供に協力しました。</p> 
11月	<p>○「2050信州ゼロカーボンチャレンジ佐久地域版」を募集 「2021環境フェアin佐久」の一環として、佐久エリアの方にゼロカーボン推進について興味を持っていただくよう、「ゼロカーボンへの取組み」「2050年の未来予想」を募集しました。 また、ゼロカーボンについて考えながら応募できるよう、「2050信州ゼロカーボンチャレンジ佐久地域版」の冊子と応募用紙を、佐久市内の全小学生に配布しました。</p> 
11月	<p>「農作業安全推進研修」を開催 【農業大学校 研修部】</p> <p>県内で発生しているさまざまな農作業事故を防止するため、11月30日に農作業安全に関する知識の向上や機械操作の習得を目的とした研修を開催しました。 当日は、県内における農作業事故の特徴などについての講義とシミュレーターを使ったトラクター転倒疑似体験など、効果的な研修となりました。</p> 
12月	<p>「地域発 元気づくり支援金」の優良事例を表彰 【佐久地域振興局企画振興課】</p> <p>地域発元気づくり支援金を活用して令和2年度に実施された佐久地域の31事業の中から、モデル的な優良事例を選定し、12月17日に表彰式及び事例発表会を開催しました。 受賞団体と事業概要は、次のとおりです。</p> <p>○元気づくり大賞及び知事表彰:佐久市常和区(佐久市) 令和元年東日本台風により大きな被害を受けた常和区において、安心・安全に暮らし続けることのできる地域をつくるため、住民が主体となって地域防災力の向上や地域コミュニティの再生につながる取組みを行いました。 佐久市常和区の取組みは、全県359事業の中でも特に魅力あふれる地域づくりに貢献した事業として「地域発 元気づくり大賞」に選ばれています。</p> 
12月	<p>「しあわせ信州移動知事室(佐久地域)」を開催</p> <p>12月14日から15日にかけて、「しあわせ信州移動知事室(佐久地域)」を開催しました。 「福祉・教育」、「地産地消・環境保全」、「働き方改革・雇用創出・企業活動」、「防災・ゼロカーボン」をキーワードに、佐久地域でさまざまな課題等に取り組む方々との懇談や視察が行われました。 これからも地域の課題をタイムリーに把握するとともに、先進的な取組みについては、県政全般に反映させてまいります。</p> 